

皮膚科

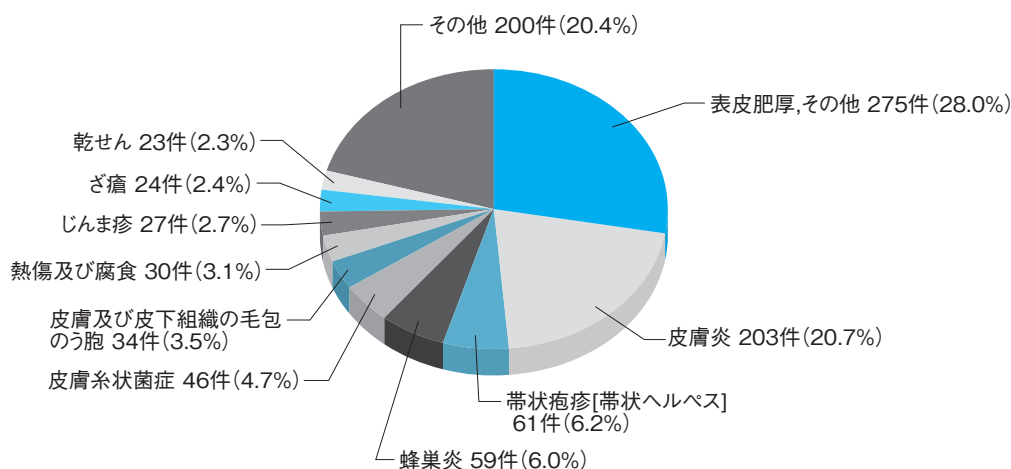
1. 概要

2019年の皮膚科は山田、藤城、花村、山下、大田の5名体制に戻った。外来患者数が徐々に増加してきているが、2019年は2018年とほぼ同数であったように思われた。外来診療時間は相変わらず伸びている印象がある。入院患者数は大きな変化がなかったように思われる。蜂窩織炎や褥瘡感染などの感染症が多かった。また、2019年は悪性腫瘍の中で乳房外パジェット病が突出して多かった。重傷熱傷は2018年と同じく少なかった印象がある。

(部長 山田 元人)

2. 新規登録疾患

総数：982件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
表皮肥厚, その他	皮膚乾燥症	143	L853
	皮膚の慢性潰瘍, 他に分類されないもの	47	L984
皮膚炎	皮膚炎, 詳細不明	92	L309
	アトピー性皮膚炎, 詳細不明	38	L209
帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	帯状疱疹, 合併症を伴わないもの	56	B029
蜂巣炎	(四) 肢のその他の部位の蜂巣炎	25	L031
	蜂巣炎, 詳細不明	24	L039
皮膚糸状菌症	爪白せん	19	B351
	足白せん	19	B353
皮膚及び皮下組織の毛包のう胞	表皮のう胞	34	L720
熱傷及び腐食	部位不明の熱傷, 程度不明	24	T300
じんま疹	じんま疹, 詳細不明	22	L509
ざ瘡	尋常性ざ瘡	21	L700
乾せん	尋常性乾せん	21	L400

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	28,321人	年間外来新患者数	3,107人
年間入院患者数	4,791人	年間入院新患者数	302人

(2) 悪性新生物

	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	有棘細胞癌	43	5	バジエット病	10
2	基底細胞癌	49	6	その他	17
3	悪性黒色腫	10		計	129

(3) 良性腫瘍、熱傷、膠原病

	疾 患 名	件 数 (件)		疾 患 名	件 数 (件)
1	良性腫瘍	1,056	6	全身性エリテマトーデス	16
2	熱傷	110	7	シェーグレン症候群	9
3	血管炎	61	8	混合性結合組織病	3
4	全身性強皮症	18		計	1,332
5	皮膚筋炎	59			

学会発表（医局）

<皮膚科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	後縦隔神経鞘腫切除後に、 左上肢の発汗障害と左肩甲 部に限局した脱色素斑を認 めた1例	筆頭演者	山下 雄太	第287回日本皮膚科学 会東海地方会	名古屋市	2019/3/10	S
2	浮腫性紅斑を呈した Mycobacterium intracellulareによる非結核 性抗酸菌感染症の1例	筆頭演者	太田 早紀	第290回日本皮膚科学 会東海地方会	名古屋市	2019/12/15	S
3	腫瘍切除と局所皮弁による 再建を施行した肛門周囲乳 房外Paget病3例の検討	筆頭演者	山下 雄太	第290回日本皮膚科学 会東海地方会	名古屋市	2019/12/15	S

座長・司会（医局）

<皮膚科>

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者 区分
1	座長	一般演題	山田 元人	第289回日本皮膚科学 会東海地方会	名古屋	2019/9/1	

論文・著書 (医局)

<皮膚科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名	著者 区分
1	汎発性膿疱性乾癬との鑑別を要した小児に生じた角層下膿疱症	筆頭著者	花村 拓哉	皮病診療. 2019; 41: 733-736.	